

モバイルアプリケーションの統合プラットフォームを提供

mbcc

企業のモバイル活用をサポートするモバイルビジネスコミュニケーションズ（東京都千代田区、金山功一社長、略称：mbcc）はこのほど、ユーザー認証、課金管理、各種デバイス向けコンテンツ変換など各種機能を統合したモバイルアプリケーション向けサービスプラットフォームの販売を開始した。

個別のソフトウェア製品を組み合わせ

る必要があった従来の手法を統一アーキテクチャに集約することで、単独で多機能なアプリケーションの構築環境を提供、SFAや物流管理システムといった既存アプリケーションのモバイル対応が迅速に行えるようになる。

商品化に先立ち、同社は大日本印刷と実証実験を実施。初年度5～10社に導入し5～10億円の売上を見込む。



販売戦略を説明する mbcc 首脳陣

SAS と eCRM ソリューション事業で提携

米ブルーマティーニソフトウェアは、米 SAS インスティテュート（以下 SAS）と eCRM 事業で戦略的提携を結んだ。契約期間は今後3年間となっている。

今回の提携により、SAS の分析系 CRM ソリューションから得られたナレッジを、ブルーマティーニ製品で作成されたマルチチャンネル・ビューに反映し、カスタマー・インタラクションの品質向上を実現

するなど、アナリティカル/オペレーション領域の連携の実現を狙う。

両製品を組み合わせたスイート製品は、このほど発売され、同製品の活用によって、Web サイト、コールセンター、モバイル・ツールといったブルーマティーニ製品がサポートするチャンネルでのパーソナライズしたサービスの提供が可能となる。

米ブルーマティーニソフトウェア

両社は当面、自動車、消費財製造、流通/小売販売、食料雑貨業界を対象とした営業やマーケティングを実施する。また、両社ともに社内での相互活用を開始しており、これによって運用ノウハウを蓄積、新製品・機能の開発を推進する方針だ。また、キャンペーンやトレーニング、セミナーといった共同プロモーションも展開する。

VoiceXML 比でコスト 4 分の 1、開発期間 6 分の 1 の変換ソフト開発

米インターネットスピーチ

Web 上の膨大なコンテンツを電話から音声で「聴く」ことができれば、この理想の環境実現のために、VoiceXML が注目されている。HTML ベースで記述された Web コンテンツを音声コンテンツに書き換える次期音声対応記述言語だ。しかし、現バージョンでは問題も多く、本場米国でもあまり普及していない。習得はさほど難しくないとされているが、プログラミングの前提で電話（音声）特有のフロー概念が必要になるため、HTML 開発者にとっては手ごわい言語だ。さらに、内容により書き換え量が増えるほど、コストと開発期間が加速度的にアップする。

この課題を一気に解決することを売り物に登場したのが、米インターネットスピーチ社が開発した「netECHO」サーバー。HTML をはじめインターネット上で使う記述言語を基本的にすべて自動変換する技術を核に、書き換えの手間とコストを大幅に低減することができるという。

「米国では ISP やプリペイドカード会社など、BtoB 中心に 15 社が導入、年内にあと 15 社以上に採用される予定です。日本市場でも悩みを抱えている会社やエンジニアは多いはずで（当社製品の）ニーズは高いとみています」と、開発者で CEO のエムダット・カン氏は自信を持っている。米国ではライセンス契約とレベニューシェアリング（サービスシステムを共同開発し利益を分配するモデル）の 2 本立てで提供。価格はライセンス契約で 25 万～100 万ドル（規模による）という。

9 月に日本ブランチ（責任者：M.M. アラン氏）を立ち上げ、年内をメドに日本語バージョンをリリースする予定。キャリアや ISP とのコンタクトを図り、早期に国内向けのビジネスモデルを確立していく考えだ。

メンテナンスで効力をフルに発揮

自動変換といっても、視覚的な Web コ



エムダット・カン CEO

ンテンツをそのまま音声に切り換えても実用にはそぐわない。当然ながら電話（音声）フローに基づくカスタマイズが必要となる。しかし、この場合も「netECHO は、いわばセミカスタム。VoiceXML ベースのフルカスタムと比べ、コストは 3 分の 1～4 分の 1、開発期間は VoiceXML で 6 か月かかる内容を 3～4 週間でカバーできます。そして最も重要なのはメンテナンス。netECHO であれば手間とコストをかけずに処理が可能です」（カン CEO）と強調する。